

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>県内企業誘致は、非常に低調な実績で推移しており、新規立地は困難な情勢となっているが、生産効率の高まりとともに配送に対するニーズも多様化、高度化し、物流拠点の集約や合理化が進んでいる。</p> <p>また、地域経済の活性化及び雇用の拡大を図るためには、市外からの企業誘致も重要であるが、地場企業への支援も必要とされている。加えて、ソフトウェア業もサテライトオフィスなどの立地が進んでいるが、無形固定資産の投資への支援が求められている。</p> <p>つきましては、次の事項について県の企業立地促進奨励事業費補助金の対象の拡充について、特段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>1 当市の企業立地促進事業費補助金においては、道路貨物運送業、倉庫業を対象業種に指定しており、県の補助では対象業種となっていないことから、物流関連業種も対象とするよう要望いたします。</p>	<p>企業立地促進奨励事業費補助金については、県及び市町村における税源涵養の観点から、不動産取得税や固定資産税等の対象となるような相当規模の設備投資を補助対象とするほか、雇用創出を要件としてきたところです。</p> <p>物流関連業種については、今後、復興道路等の整備の進展や宮古・室蘭フェリー航路の開設などにより、本県の物流環境が改善され、あらゆる産業において取引の拡大が想定されることから、県としては、他県の状況を参考としつつ、産業界の動向や具体の企業ニーズを踏まえ、市町村と連携した支援策について研究していきます。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B
<p>県内企業誘致は、非常に低調な実績で推移しており、新規立地は困難な情勢となっているが、生産効率の高まりとともに配送に対するニーズも多様化、高度化し、物流拠点の集約や合理化が進んでいる。</p> <p>また、地域経済の活性化及び雇用の拡大を図るためには、市外からの企業誘致も重要であるが、地場企業への支援も必要とされている。加えて、ソフトウェア業もサテライトオフィスなどの立地が進んでいるが、無形固定資産の投資への支援が求められている。</p> <p>つきましては、次の事項について県の企業立地促進奨励事業費補助金の対象の拡充について、特段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>2 県の補助では当該市町村内で創業した企業は対象外となっていることから、地場企業も対象とするよう要望いたします。</p>	<p>企業立地促進奨励事業費補助金は、企業立地により地域経済の活性化及び雇用の拡大等を図ることを目的としており、域外からの誘致を促進しようとするものです。</p> <p>なお、県では「特定地域の産業活性化に関する条例」において、地場企業・誘致企業の別を問わず不動産取得税及び事業税の減税措置を設けています。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	C

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>県内企業誘致は、非常に低調な実績で推移しており、新規立地は困難な情勢となっているが、生産効率の高まりとともに配送に対するニーズも多様化、高度化し、物流拠点の集約や合理化が進んでいる。</p> <p>また、地域経済の活性化及び雇用の拡大を図るためには、市外からの企業誘致も重要であるが、地場企業への支援も必要とされている。加えて、ソフトウェア業もサテライトオフィスなどの立地が進んでいるが、無形固定資産の投資への支援が求められている。</p> <p>つきましては、次の事項について県の企業立地促進奨励事業費補助金の対象の拡充について、特段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>3 固定資産投資額としてソフトウェアなど償却資産として位置付けられる無形固定資産も対象とするよう要望いたします。</p>	<p>企業立地促進奨励事業費補助金については、県及び市町村における税源涵養の観点から、不動産取得税や固定資産税等の対象となるような相当規模の設備投資を補助対象とするほか、雇用創出を要件としてきたところです。</p> <p>ソフトウェア等については、今後、I o Tの進展などにより、I T関連企業をはじめあらゆる産業においてその活用の拡大が想定されることから、県としては、他県の状況を参考としつつ、産業界の動向や具体の企業ニーズを踏まえ、市町村と連携した支援策について研究していきます。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B
<p>1 一級河川安比川について</p> <p>本河川は、本市日影地区から二戸市との境界まで約3,800mを平成13年度から河川改修事業を実施していただいておりますが、平成19年9月の豪雨では岩木地区が冠水し、更に平成23年9月の台風15号による増水、平成25年9月の台風18号による増水により、三度、地域住民が避難を余儀なくされる事態が発生しています。</p> <p>このことから、岩屋地区から岩木地区の間の河川改修事業の早期完成が望まれるところであります。</p> <p>また、欠の山に接近して狭隘な個所を国道282号、J R花輪線が並走する小屋の畑地区においても、近年、大雨で河川の増水・氾濫により護岸の決壊等の甚大な被害の発生や、河川の洪水の影響により、J R花輪線の運休や国道282号が冠水するなど被害が発生しており、総合的な洪水対策が望まれている状況にあります。</p> <p>つきましては、上記河川の早期の改修等整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>管内の河川改修事業については、近年の洪水による家屋の浸水被害箇所等を優先して整備を進めているところ。</p> <p>安比川については、平成13年度から浅沢地区河川改修事業として着手し、家屋の多い岩屋・岩木集落周辺を優先して整備を進めており、平成29年度は引き続き岩屋・岩木それぞれの工区で護岸工事を進める予定です。</p> <p>また、小屋の畑地区については、これまでの被災状況や周辺の土地利用状況を勘案し、貴市と調整を図りながら治水対策の検討を進めていきます。</p> <p>なお、河川改修規模を上回る豪雨が発生する恐れもあることから、状況に応じて、住民の迅速な避難を促す避難勧告等を適時に発令するようお願いいたします。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	B

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 一級河川松川について</p> <p>平成25年9月の台風18号に伴う大雨により、本河川は、これまでにない増水・氾濫で、多くの護岸決壊や河川周辺土地の冠水など、甚大な被害が発生し、河川沿いに居住している一部住民も避難を余儀なくされました。</p> <p>被災した箇所災害復旧事業に取り組んでいただきましたが、平地部の流れが緩やかな区間などでは、土砂堆積により河床が浅くなった区間も散見され、河川沿いの住民からは、今後の少しの大雨でも洪水が発生するのではないかと不安の声が多い状況です。</p> <p>このことから、河川改修などの総合的な洪水対策が必要ではありますが、住民生活安定のため、当面の対策として、河道掘削などにより堆積土砂を撤去し、河川流下断面を確保することにより、洪水などの再度災害の防止が望まれています。</p> <p>つきましては、上記河川の早期の改修等整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>管内の河川改修事業については、近年の洪水による家屋の浸水被害箇所等を優先して整備を進めているところ。</p> <p>河道の土砂堆積状況については、定期的な河川巡視等を行い、家屋への浸水被害の恐れがある区間など、緊急を要する箇所から適切に河道掘削等を進めていきます。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	B
<p>平成25年の8月豪雨や9月の台風16号により、市内北上川水系松川や馬淵川水系安比川、米代川が氾濫し、河川周辺の住宅地に床上・床下浸水など広範囲に被害が発生いたしました。</p> <p>また、昨年の台風10号により岩泉町小本川が氾濫し、高齢者福祉施設から多くの尊い命が奪われるなど、甚大な被害が発生いたしました。</p> <p>当市における水位周知河川は馬淵川水系安比川1箇所となっており、北上川水系松川は、盛岡市の区間のみが指定となっており、田頭地区に水位計はあるものの、八幡平市は指定区間となっていない状況であります。</p> <p>また、米代川には水位計はあるものの、人間の目による確認作業が必要となっております。</p> <p>つきましては、今後、いつでも、どこでも発生しうる集中豪雨による土砂災害等に迅速に対応するため、八幡平市内の松川及び米代川の水位周知河川の指定について要望いたします。</p>	<p>県では、台風第10号災害を踏まえ、水位周知河川の指定区間の選定基準において、従来の「浸水被害の発生した区間」や「人口・資産の集中する区間」などに、「防災拠点（役場等）を含む区間」を追加したところです。</p> <p>この選定基準により、洪水減災対策協議会において、関係市町村との協議を行いながら、水位周知河川の指定を進めていきます。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	B

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1 一般県道渋民田頭線について</p> <p>本路線は、本市田頭地区と盛岡市渋民地区を結ぶ幹線路線であり、小中学校への通学や一般の通勤等に多く利用されていますが、歩道の未設置区間があることや、五百森地区においては、狭隘箇所や急カーブが多く、通勤・通学及び日常生活での歩行者が常に交通事故の危険性にさらされている状況となっています。</p> <p>つきましては、地域住民の安心・安全と円滑な交通を確保するため、上記路線の早期改良整備及び歩道設置について、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>一般県道渋民田頭線の改良整備及び歩道設置については、五百森地区において歩道設置及び急カーブの緩和を含めた一部改良事業に平成23年度から着手しています。</p> <p>平成29年度は、踏切拡幅工事、用地取得等を実施しており、引き続き事業を進めます。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	A
<p>2 一般県道岩手大更線について</p> <p>本路線は、本市大更地区と岩手町を結ぶ幹線道路であり、小中学生の通学路にもなっていますが、西根バイパスが供用されたことにより交通量が増加しているものの、歩道が整備されていないため、通学や日常生活での歩行者の安全確保に支障をきたしている状況となっています。</p> <p>つきましては、地域住民の安心・安全と円滑な交通を確保するため、上記路線の早期改良整備及び歩道設置について、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>歩道設置については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C
<p>1 主要地方道岩手平館線について</p> <p>本路線は、本市平館地区と岩手町を結ぶ幹線道路で、地域の生活関連道路として重要な路線となっており、小中学校への通学をはじめ、高校生や通勤者などの歩行者が多く利用されていますが、寺田地区の歩道に一部未設置区間（上関～帷子）があり、歩行者の通行に支障をきたしており、危険な状況となっています。</p> <p>つきましては、上記路線の早期改良整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>歩道設置については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 主要地方道大更八幡平線について 本路線は、アスピーテラインを經由して岩手県と秋田県を結ぶ観光道路であり、沿線住民にとっても重要な幹線道路でもあります。 沿道地区である松尾寄木地区では、歩道未設置区間があり、児童や歩行者が車道部を通行しなければならず、特にも冬期間は歩行スペースがなく危険な状態となっています。</p> <p>つきましては、上記路線の早期改良整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>松尾寄木地区の歩行空間の確保については、今後の交通量の推移や地域の沿道状況等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C
<p>3 主要地方道二戸五日市線について 本路線は、二戸市から旧浄法寺町を経て本市に至る県北地域の幹線道路であるとともに、東北新幹線二戸駅へのアクセス道路にもなっていますが、湯の沢地区から土沢地区まで（川原地区から日影地区間は改良整備終了）は、歩行区間もなく、見通しも悪く、特にも岩屋地区入口付近から二戸市との市境までの区間は、地域住民が交通事故の危険にさらされており、早期改良が求められています。</p> <p>つきましては、上記路線の早期改良整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>主要地方道二戸五日市線の御要望区間のうち、土沢地区は平成19年度に堆雪帯を整備し、歩行空間の確保を図っています。また、繋沢地区についても平成24年度から堆雪帯整備事業を実施し、歩行空間の確保を図っています。（B） その他の区間については、交通量の推移や予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。（C）</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	
<p>4 主要地方道葛巻日影線について 本路線は、本市と一戸町及び葛巻町を結ぶ県北地域の幹線道路であり、安代地域に連絡する重要な路線でもあります。本路線を奥中山高原、田代平及び安比高原を結ぶ広域観光ルートとして、利活用を検討しておりますが、急カーブが多く、大型車の通行に支障をきたしている状況です。</p> <p>つきましては、上記路線の早期改良整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>主要地方道葛巻日影線の改良整備については、交通量の推移や予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>市道鴨志田線外は、安代地区の小屋の畑付近から国道282号と並走し国道282号と市道インター小柳田線との交差点付近まで、安代地区の中心部である荒屋新町地区を縦貫し、沿道には市安代総合支所、市博物館、市診療所等の公共施設が配置され、安代地区の住民生活にとって最も重要な路線であるとともに、「ぶらっと一日体験工房」イベントや「不動の滝」など観光資源も周辺に配置されているなど、市外から訪れる観光客等の経路にもなっている路線であります。</p> <p>しかし、幅員が狭く、見通しの悪い区間があり、市民からは早期の整備が望まれているものの、一級河川安比川の横断が複数箇所あることから、道路、橋梁工事と合わせた河川整備が必要となっております。</p> <p>また、県と市の協議において、冬期間の高速道路通行止めなどの際には、国道282号のう回路（幅員狭小のため普通車のみ一方通行）として指定している重要路線でもあり、緊急時には、国道282号の代替路線としての性格を持っております。</p> <p>本路線の整備によって、災害時における緊急輸送路の確保が実現され、大型車の通行も可能となることから、冬期間の交通渋滞緩和及び民生安定など地域生活に、大きな効果を発揮するものと期待されております。</p> <p>つきましては、県代行制度による道路整備を要望するものであり、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>県代行事業については、事業の必要性、難易度、緊急性、重要性が高く、用地補償が完了した箇所の中から、県全体の道路整備状況を踏まえ総合的に検討しているところです。</p> <p>貴市ご要望の鴨志田線については、平成27年に市の社総交事業として事業に着手したと認識しているところです。また、代行事業については、今年度から事業の難易度や緊急性等について協議しており、今後、この結果及び県全体の優先度等を考慮しながら対応を検討していきます。</p> <p>なお、国道282号の荒屋新町地区は幅員狭小で、平成22年末における豪雪で渋滞が発生し、交通や住民生活に大きな影響が生じたことから、今後とも貴市と連携を図りながら、豪雪時や災害時等における円滑な緊急輸送路の確保について検討していきます。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C
<p>1 五日市地区道路局部改良及び流雪溝の設置について</p> <p>五日市地区五日市橋付近は、通学路となっておりますが、急カーブで見通しも悪く、特に降雪期は路肩の堆雪により幅員が狭小となり、大型車のすれ違いは一方が待機しているなど通行に支障をきたしています。また、過去には隣接する家屋への物損事故も発生していることから、道路の局部改良による見通しの改善が望まれている状況です。</p> <p>また、国道沿線は、歩道は設置されているものの、除雪による堆雪が多く排雪場所の確保が困難なため、歩道は狭くなり歩行者の通行に支障をきたしています。</p> <p>このことから、冬期の安全確保のため、早期に流雪溝の整備が望まれている状況です。</p> <p>つきましては、上記地区の道路整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>五日市地区においては、冬期間における歩行スペース確保のため、歩道除雪及び車道除排雪業務を実施しているところです。</p> <p>御要望の局部改良及び流雪溝の設置については、地域の沿道状況や用水の確保の可能性を含め、県全体の道路整備状況を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 竜ヶ森地区スノーシェルター拡幅整備について 竜ヶ森地区スノーシェルターは、狭隘区間があり、大小カーブの連続で路面勾配もきついなどの要因から、交通事故発生の危険性が懸念されているため、スノーシェルター狭隘区間の拡幅整備、若しくは用地買収による新路線の道路整備が望まれている状況です。</p> <p>つきましては、上記地区の道路整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>竜ヶ森地区スノーシェルターについては、事故防止策として急カーブ注意標識、減速マーキング等の設置や凍結抑制剤の散布などを行っているところです。</p> <p>御要望の拡幅整備及び用地買収による新路線の道路整備については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めるとともに、必要な対策について貴市との情報交換に努めながら検討してまいります、早期の事業化は難しい状況です。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C
<p>3 兄畑中川原地区道路改良整備及び橋りょう架け替えについて 兄畑中川原地区兄畑橋付近は、幅員が狭いうえ、急カーブで見通しも悪く、特に降雪期の除雪により、路肩に堆雪があるときなどは、大型車のすれ違いが出来ないなど渋滞が発生している状況から、道路の拡幅及び橋梁架け替えが地域のみならず通行車両からも望まれている状況です。</p> <p>つきましては、上記地区の道路整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>国道282号兄畑中川原地区の道路改良整備及び橋梁架替については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討してまいります、早期の事業化は難しい状況です。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C
<p>4 佐比内地区道路改良整備について 佐比内地区は、幅員が狭いうえ急カーブが連続しており、冬期間、雪崩も発生している状況であり、トンネル工事の早期道路改良整備が望まれている状況です。</p> <p>つきましては、上記地区の道路整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>国道282号佐比内地区の道路改良整備については、今年度、用地取得、修正設計を実施したところであり、引き続き貴市の御協力を得ながら整備推進に努めてまいります。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	A

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>当市では、畜産業の様々な課題を解決するため、県が平成28年4月に策定した岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画の中で取り組みを進めることとしている「キャトルセンター」を整備することで検討を重ねているところです。</p> <p>施設整備には、多額の費用が必要であり、施設運営経費も多額となることが見込まれるほか、預託施設の飼養頭数が大規模となることから、飼養管理技術や家畜衛生対策等多くの課題が想定されます。</p> <p>当該施設は当市にとって、県酪肉近代化計画にもあるように畜産を振興していくためには、必要不可欠であることから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 本施設は当市に限らず、県の畜産振興に寄与する施設であるため、国庫補助への上乗せを要望いたします。</p>	<p>八幡平市の繁殖・育成センターの整備について、県では、これまで、生産者やJA、市等で構成する検討委員会に参画し、</p> <p>① センターの飼養規模等に応じた整備費や管理費等の試算の提示</p> <p>② 活用可能な補助事業メニューの紹介や事業導入に向けた採択要件の整理</p> <p>などについて支援してきたところです。</p> <p>なお、国庫補助への県費の上乗せにつきましては、行財政構造改革の取組として、廃止しておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>県としては、引き続き、補助事業導入にあたっての計画策定や効率的かつ効果的な施設運営方法などについて支援していきます。</p>	盛岡広域振興局	農政部	C
<p>当市では、畜産業の様々な課題を解決するため、県が平成28年4月に策定した岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画の中で取り組みを進めることとしている「キャトルセンター」を整備することで検討を重ねているところです。</p> <p>施設整備には、多額の費用が必要であり、施設運営経費も多額となることが見込まれるほか、預託施設の飼養頭数が大規模となることから、飼養管理技術や家畜衛生対策等多くの課題が想定されます。</p> <p>当該施設は当市にとって、県酪肉近代化計画にもあるように畜産を振興していくためには、必要不可欠であることから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 輸入飼料や生産資材の高騰等生産コストが上がってきているため、預託経費への助成を要望いたします。</p>	<p>繁殖・育成センターの円滑な運営にあたっては、運営主体自らが、預託に係る経費など施設運営コストを抑制しながら、持続的に運営できる体制を構築していくことが重要と考えております。</p> <p>このため、県としては、</p> <p>① センターの牧草地を最大限に利用するための放牧管理技術の導入や粗飼料販売による収入確保対策の実施、</p> <p>② 家畜伝染疾病の発生子防等の防疫・衛生対策の実施、</p> <p>③ 飼養管理の省力化を図るための発情発見機等ICT技術の導入など、施設運営の効率化、安定化に向けた支援を行っていきます。</p>	盛岡広域振興局	農政部	C

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>当市では、畜産業の様々な課題を解決するため、県が平成28年4月に策定した岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画の中で取り組みを進めることとしている「キャトルセンター」を整備することで検討を重ねているところです。</p> <p>施設整備には、多額の費用が必要であり、施設運営経費も多額となることが見込まれるほか、預託施設の飼養頭数が大規模となることから、飼養管理技術や家畜衛生対策等多くの課題が想定されます。</p> <p>当該施設は当市にとって、県酪肉近代化計画にもあるように畜産を振興していくためには、必要不可欠であることから、次の事項について要望いたします。</p> <p>3 飼養管理技術や家畜衛生対策、預託施設経営等において、県の濃密な指導を要望いたします。</p>	<p>県の指導につきましては、農協、市、県（振興局、農業改良普及センター、中央家畜保健衛生所）等の関係機関・団体で構成している「いわて酪農の郷サポートチーム」や「いわて肉用牛サポートチーム」により、飼養管理および家畜衛生対策等への技術指導に係る支援を行っているところであり、「キャトルセンター」整備後は同施設を支援対象に位置づけ、重点的に飼養管理技術や家畜衛生対策、預託施設経営等を支援して参ります。</p>	盛岡広域振興局	農政部	A

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>本市は、県内唯一のジャンプ競技施設である市営矢神飛躍台を有することから、希望郷いわて国体をはじめとする全国・東北大会の会場地となってきたほか、アルペールビルオリンピック金メダリストの三ヶ田礼一選手やソチオリンピック日本代表の永井秀昭選手をはじめ、多くの岩手県ジャンパーを育成・輩出するなど、本県のスポーツ振興において重要な役割を担ってまいりました。</p> <p>今後、本県におけるスポーツ振興の機運をさらに醸成するとともに、県出身選手の活躍による県民への勇気、希望を与え、県全体がスポーツに対する高揚を一層推進するためには、これまでも増して県が重要な責務を担うことが大切であると考えます。</p> <p>そこで、本施設を県営化することにより、希望郷いわて国体のレガシー（遺産）を未来に引き継ぎ、ウインタースポーツを通じた人口の交流の場として岩手県の魅力を発信し、スポーツ施設を活用した地域活性化を実施していただくことを要望いたします。</p> <p>また、現在のアプローチは、雪と水によるスノーセメントを敷き詰める作業を伴うため、準備作業に多大な労力を必要とし、また、気温上昇等によりレーン溶解が発生しやすいため、スタート順の違いによる競技の公平性確保が難しいなど、競技の安定開催が厳しい状況にあります。</p> <p>そこで、準備作業の短縮と効率化を図るとともに、スタート順の早い選手も遅い選手も同じ条件で滑走ができるようにするため、アプローチのクーリングシステム導入に対する支援を要望いたします。</p>	<p>市営矢神飛躍台は、希望郷いわて国体をはじめとする各種大会を開催しており、本県のスキー競技の振興に貢献いただいているところですが、その活用、維持管理等については、設置者において行われるべきものと認識しております。</p> <p>なお、市営矢神飛躍台の整備に対する県の支援については、国体等全国大会の開催の可能性等を見据え、今後検討して参ります。（C）</p> <p>また、地域活性化に向けては、「いわてスポーツコミッション」等の取組を通じ、貴市との連携・協力のもと、矢神飛躍台と隣接の県営スキージャンプ台を活用したスポーツ合宿の誘致などに取り組んで参ります。（D）</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	C、D

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>高齢化と長寿化が進展する中、高齢者等が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、健康寿命の延伸と健康格差の縮小への取り組みが求められています。そのためには、住民一人一人に早期から健康づくりに対する意識を持たせることが大切であり、その動機付けが必要とされています。</p> <p>また、高血圧の大きな原因となる1日当たりの食塩摂取量が全国最多である本県では、脳卒中死亡率全国ワースト1位からの脱却を目指し、県を挙げて減塩・適塩を普及啓発し、健康づくりに取り組んでいるところです。</p> <p>つきましては、県において、住民の健康づくりをさらに推進するため、スケールメリットを生かした、次の制度の構築について取り組んでくださるよう要望いたします。</p> <p>1 住民の特定健康診査等の受診やウォーキング等の運動への自主的な取り組みに対して、ポイントを付与し、そのポイントにより特典を取得できる制度</p>	<p>住民の各種検診の受診や健康イベント等への参加を促す取組は、県内では、釜石市、遠野市、二戸市、西和賀町などで実施されているところであり、県としては、今後、こうした取組の実施状況等について、市町村保健師等担当者を対象とした研修会や特定健診課題対策検討会等の場を通じて情報提供を行い、市町村での取組を促していきます。</p>	盛岡広域振興局	保健福祉環境部	B
<p>高齢化と長寿化が進展する中、高齢者等が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、健康寿命の延伸と健康格差の縮小への取り組みが求められています。そのためには、住民一人一人に早期から健康づくりに対する意識を持たせることが大切であり、その動機付けが必要とされています。</p> <p>また、高血圧の大きな原因となる1日当たりの食塩摂取量が全国最多である本県では、脳卒中死亡率全国ワースト1位からの脱却を目指し、県を挙げて減塩・適塩を普及啓発し、健康づくりに取り組んでいるところです。</p> <p>つきましては、県において、住民の健康づくりをさらに推進するため、スケールメリットを生かした、次の制度の構築について取り組んでくださるよう要望いたします。</p> <p>2 従業員に対して特定健康診査等の受診やウォーキング等の運動を推奨し、積極的に健康づくりを実践している事業所を優良事業所として登録及び公表する制度</p>	<p>盛岡広域振興局において、従業員50人未満の小規模の事業所を対象に、従業員の体重、血圧、歩数を継続的に計測するとともに、歩数増加等上位企業の表彰や実践例の普及など、事業所の健康づくりの取組を支援する事業を今年度新たに始めたところです。</p> <p>県においては、現在行っている「健康いわて21プラン」の中間評価・見直しの中で、関係機関・団体の意見も伺いながら、このような取組の普及など、「身体活動・運動」分野における今後の取組の方向性等を検討していきます。</p>	盛岡広域振興局	保健福祉環境部	B

八幡平市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>近年県内各地で相次いでいる太陽光発電施設及び風力発電施設の設置など、既存法令の対象とならない行為の規制が及ばないまま、無秩序な土地利用が行われるといった課題が生じている。</p> <p>こうした既存の法令の対象とならない土地利用の行為については、防災や景観上の観点、さらには将来の放置・荒廃を防ぐ観点から、基準を策定して許可制にするなど、法的規制を行うよう、国に働きかけを行っていただくよう要望いたします。</p>	<p>平成29年4月から固定価格買取制度が改正になり、適切な事業実施の確保を図るため、事業開始前の審査に加えて事業実施中の保守点検、事業終了後の設備撤去等の遵守が求められることとなったほか、違反時の改善命令や認定取り消しを可能とする制度となっております。</p> <p>また、県としても、太陽光発電の導入について市町村や地域住民の意見を聞く仕組みや、事業終了後等の発電設備の適切な撤去等を担保するための仕組みを導入するなど、自然環境や景観等に配慮したきめ細かな制度改善を行うよう、本年6月に国に対して要望を行ったところであり、今後も機会を捉えて国へ働きかけを行っていきます。</p>	盛岡広域振興局	保健福祉環境部	B
<p>本市は、NHKの電波中継地点である盛岡中継局と二戸中継局の中間に位置しており、山間部ということも相まって電波が脆弱であるため、地上デジタル化においてもテレビ難視聴地域が多く存在しているのが現状です。</p> <p>テレビ難視聴地域住民においては、テレビ難視聴対策としてテレビ共同受信施設組合を立ち上げ、加入世帯による積み立てを行い軽微な施設修繕や維持管理を行っているものの、施設老朽化に伴う改修などは費用が高額となるため、組合独自の積み立てでは対応できない状況にあります。</p> <p>本市では、テレビ共同受信施設組合に対するテレビ難視聴地域解消支援として、テレビ難視聴地域解消事業(テレビ共同受信施設組合の加入世帯に3万5千円を乗じて得た額を控除した額以内の補助金を交付)を行っていますが、NHK共聴組合への補助金が100万弱～400万円程度に対し、自主共聴組合への補助金は施設改修見積書から想定するに2,000万円～4,000万円程度となるため、市単独費での負担が非常に難しい状況です。</p> <p>つきましては、テレビ難視聴地域解消事業に対する県補助金制度の創設を要望いたします。併せて国庫補助金制度の創設を国に働きかけてくださいますよう要望いたします。</p>	<p>テレビ共同受信施設組合の施設更新は全国的な課題であり、県では全国知事会や全国都道府県情報管理主管課長会を通じ、国に対し維持管理費等に対する新たな支援制度の創設や、維持管理費等を地元自治体が支援する場合の地方財政措置について要望してきたところです。</p> <p>平成30年度の政府予算については、県単独で要望を行ったほか、全国知事会を通じ要望を行っています。</p> <p>今後も市町村と連携し、県内のテレビ共同受信施設組合の実情把握に努めるとともに、国に対し支援制度の創設について要望していきます。</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B